

市民活動状況

市内NPO法人数	33 団体
当センター登録団体数	140 団体
当センター登録会員数	6,797人
10月来館者数	2,284人
10月印刷機利用枚数	38,845枚

ひびき

発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之



龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
 〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://r-shimin.sakura.ne.jp/

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」その83

第8回市民活動応援市が開催されました。
 龍ヶ崎市市民活動センターの利用者数は約年間24,000人。
 活動者の中には社会貢献という名のもとに「生きがい」「やりがい」をお小遣いで賄い、活動して下さる方も少なくない。
 ご家族を支えるために仲間と寄り添う活動もあり、健康維持と仲間とのふれあいを求め、わがふるさとの自然環境を整備する活動もある。
 近年の物価上昇や消費税増税を背景に活動への行政支援が乏しい中、これらの社会貢献活動に少しでも経費を賄うことができないかと考えて、参加費300円(保険代に充当)で指定管理者(NPO)が考案したものが「市民活動応援市」である。
 創作品等をマーケットする企画。売上金は全額出店者へ。出店者の平均売上は1万円程度。それでも参加者は自分の活動が買ってもらえる楽しさを求め「元気」を創り出している。



第1回ひびき絵画コンクール開催

市民活動応援市で同時開催された小学生対象の絵画コンクール。NPOが中心となって実行委員会を立ち上げ、会費と寄付でコンテスト資金を調達し「じいじ、ばあば」が子どもたちとふれあいを楽しむもの。
 名付けて「ひびき絵画コンクール」。12名の賛同者が集まり、審査委員特別賞などを考案し「しろうと審査会」を実施した。
 募集は夏休み宿題として市内小学校に協力をお願いした。絵画のテーマは「元気いっぱい龍ヶ崎」。
 表彰委員長は小・中学生の科学工作教室に取り組んでいる龍ヶ崎発明教室の近藤代表。最近ではマイクロビットプログラミングにも取り組んでいる。
 他に龍ヶ崎で活躍する市民団体や大学教師、障がい者福祉に取り組む家族の会長も参加してくれた。
 作品名と子どもの製作した絵画入りの表彰状を考案し思い出に残るものとした。考案者はお母さん。龍ヶ崎市長にも御覧いただいた。館内に掲示した108点の絵画に利用者の皆さんから一様に好評をいただいている。
 受賞作品は市民活動センター月刊広報紙の挿絵になる予定。
 また、出展作品は全て市民活動センターに年内展示されていますので、お立ち寄りの際はご覧ください。
 さらに優秀品は、来年2月開催予定の「りゅうがさき市民活動フェアinサブラ」でも展示されます。



表彰式の様子



牛久沼でウインドサーフィン

今回は販売ブース以外の企画として、牛久沼でウインドサーフィンを楽しむ、龍ヶ崎 B&G USC 海洋クラブの皆さんも参加してくれた。海老原会長にインタビューしたところウインドサーフィンを楽しんでいる年代層は、小学生から中高年代までとても幅広い。海洋クラブは今や全国規模で展開。昔は海で遊ぶものと思っていたが最近では湖や沼でも遊べる環境が普及したようだ。龍ヶ崎市も時代遅れしてはならない・・・。

彼らの活動場所である牛久沼の自然を大切に、清掃活動にも取り組む環境活動。知名度向上、遊びやすい龍ヶ崎を目指して、これからは展示方法に更なる工夫を凝らして市民の関心を高めたいと思う。

将来は流通経済大学の講座にでも取り入れてくれたら、道の駅と相乗し「牛久沼ここにあり」・・・が加速することを期待したい。



流通経済大学学生諸君と市民活動センターの交流



流通経済大学法学部教師が繋いでくれた、つくばね祭(流通経済大学文化祭)に市民活動10団体が参加したご縁で、今回の市民活動応援市にもパネルの展示と設営の応援で参加してくれた。学生諸君との交流はとても新鮮で元気をもらったと感じた。つくばね祭企画の内容充実にもゼミ活動として取り組んでいる。

初めての日展

NPO法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会の会員／流通経済大学経済学部中原篤徳教授からいただいた第6回 日展の鑑賞券を携え、六本木の国立新美術館へ出向いた。

日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 いやはや！あることあること・・・お目当ての彫刻の部／中原先生の作品を探しもとめたがお恥ずかしいながら田舎者の私には会場が広すぎて広すぎて・・・。

外国人も大勢 唯々、脳ミソがクリーンアップしたような感じ・・・仲間と新国際ビルの地下で一杯。味は変わらず・・・久しぶりの有楽町は都会のにおいがプンプン

昔に比べちょっと元気がないかも・・・気のせいですかね・・・



お知らせ

- 年末年始の休館⇒12月29日(日)～1月3日(金)
- 市民活動センター裏の体育館の解体工事が予定されています。工事期間中は駐車場が狭くなったりご不便をおかけしますがご了承願います。
- 「りゅうがさき市民活動フェアinサプラ」を2月22日(土)・23(日)に開催します。詳細は追ってお知らせします。
- 冬の星空観察会を開催します。詳細は1月発行のりゅう一ほ一でお知らせ・募集します。

龍ヶ崎短歌会

利根川の河岸に残れる常夜燈に今も遺せる昔人の名

地を這って伸びし朝顔の花咲きし濃き色すがしくいやしてくれたる

糸賀浩子

糸賀ひさ子